

東通原子力発電所「立地地域事務所」を建設します

当社は、東通村ひとみの里地区に、東通原子力発電所「立地地域事務所」を建設します。

立地地域事務所は、東通原子力発電所の状況などについて、関係自治体や地域の皆さまへの情報発信をはじめとする地域対応の強化を目的に建設するものです。

具体的には、関係自治体への情報提供や、地域の皆さまとの対話活動を行う際の出先事務所として使用するほか、原子力に対する関心・理解を深めていただく説明会などを開催するための理解活動交流スペースを設置します。

同スペースは、地域イベントなど、皆さまの交流の場としてもご活用いただきたいと考えています。

3月2日には、建設工事関係者による安全祈願祭を執り行いました。今後は、2022年3月の竣工を目指して、事故や労働災害の防止に努め、工事を進めてまいります。地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

当社としましては、立地地域事務所の活用により、これまで以上に身近で顔の見える活動を展開し、迅速かつきめ細かな情報発信に努めてまいります。



「立地地域事務所」の完成予想図



安全祈願祭の様子

「立地地域事務所」の概要

建設地：東通村砂子又字里1番61（ひとみの里地区）

構造：鉄骨造2階建

延床面積：約1,550㎡（建築面積：約1,170㎡）

主要レイアウト：1階 理解活動交流スペース（※1）

テナント（商業施設）スペース（※2）など

2階 事務室、会議室など

その他：東通村建築協定条例に基づき、地元材の杉を基調とした外観とすることで、周辺の景観との調和を図ります。

※1 原子力やエネルギー理解に係る当社主催行事等を実施します。また、当社行事などがない日には、地域の皆さまのイベント等にもご利用いただけます。

※2 テナント（商業施設）スペースには、(株)マエダ様の入居を予定しております。

原子力総合防災訓練を実施しました

3月5日、本店および青森支店などと連携し、原子力総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練は、巨大地震の発生により送電線からの外部電源がすべて停止し、原子炉が自動停止するとともに、その後、原子炉を冷却する機能が失われ、原子炉内の水位が低下していくという想定のもと実施しました。

当日は、新型コロナウイルス感染防止対策として、対策本部室内の要員を通常よりも少なく配置。別室の要員と連携しながら対策本部を運営し、事態収束に向け復旧戦略を策定するとともに、社内外への通報連絡を行いました。

また、現場での実動訓練として、喪失した原子炉冷却機能の復旧を図るため、代替海水ポンプを搭載した送水車を取水口に設置するとともに、送水ホース敷設の作業手順を確認しました。

今後も、さまざまな状況を想定した訓練を継続的にを行い、緊急時における対応力の維持・向上に努めてまいります。



対策本部で復旧戦略などについて協議



取水口への送水車設置作業



送水ホースの敷設作業

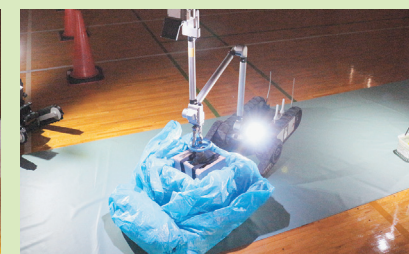
ロボット操作訓練を実施しました

2月16日、原子力災害を想定したロボット操作訓練を実施しました。

当日は、発電所建屋内の放射線量が高くなり立ち入ることができないという想定のもと、放射性保護衣などの装備を着用し、小型ロボットを遠隔操作。照明が消えた暗い作業環境下で障害物の除去やバルブ開閉操作などを行い、操作技術の向上を図りました。



ロボット2台による障害物の除去作業



ロボットアームを使用したバルブ開閉操作



モニター映像を見ながらの遠隔操作